

# 軌道事故における救助・情報伝達態勢を確認



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県と立山カルデラ砂防博物館が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々が年間約2千人乗車しています。

7月から「体験学習会」が始まることから、トロッコ乗車中での事故発生時に迅速な対応を図れるよう事故対応訓練を毎年実施しています。今回の訓練は10年目となり、負傷者の応急手当と搬送、負傷者以外の避難行動の手順、現地と対策本部や関係機関との情報伝達手順など各自の役割と態勢を確認しました。

訓練では、負傷者をタンカー、手押しのレスキューカート、救護モーターカーでの実働搬送や現地と対策本部との連絡・指示伝達を関係機関及び軌道関係受注者など44名の参加し、訓練後には反省会において改善点などの意見を出し合い、安全でかつ、迅速な行動態勢づくりを確認しました。

日時：平成30年6月26日(火) 10:00~12:00

訓練場所：訓練軌道0.35kp付近

(千寿ヶ原緑地公園駐車場付近)

参加機関：立山砂防事務所 富山県砂防課  
(公財)立山カルデラ砂防博物館 富山県上市警察署  
立山町消防本部 軌道運行受注者

## 救助訓練・情報伝達訓練の様子



負傷者のトロッコからの搬出



レスキューカートによる搬送



救護モーターカーによる搬送



点呼による参加者確認や避難行動確認



歩行可能者の避難誘導・行動



事故対策本部での情報伝達・整理



訓練後の反省会